

作成年月日	平成27年8月31日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

県民モニター「第2回アンケート調査」結果概要

1 調査概要

- (1) 調査テーマ：「地域安全まちづくりの推進について」
- (2) 調査対象者：県民モニター2,155人
- (3) 調査期間：平成27年7月9日(木)
～7月22日(水)[14日間]
- (4) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (5) 回答者数：1,521人(回答率70.6%)

<参考-対象者及び回答者属性>

	対象者	回答者	回答率
総数	2,155	1,521	70.6%
性別	男性	845	76.3%
	女性	676	64.5%
年代別	10～20代	66	53.2%
	30代	162	53.8%
	40代	292	64.3%
	50代	288	71.6%
	60代	378	81.8%
	70代以上	412	81.3%

2 調査結果の概観

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																																							
犯罪被害への不安	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H27</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不安を感じる</td> <td>50.4%</td> <td>55.3%</td> </tr> <tr> <td> 不安である</td> <td>(8.7%)</td> <td>(7.7%)</td> </tr> <tr> <td> やや不安である</td> <td>(41.7%)</td> <td>(47.6%)</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>13.2%</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>安心を感じる</td> <td>36.3%</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td> 安心している</td> <td>(3.7%)</td> <td>(2.6%)</td> </tr> <tr> <td> まあ安心している</td> <td>(32.6%)</td> <td>(28.6%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【不安を感じる理由】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H27</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モラルの低下</td> <td>41.7%</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>地域に死角が多いから</td> <td>29.6%</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>犯罪事件の報道を目にするから</td> <td>28.6%</td> <td>24.2%</td> </tr> <tr> <td>地域コミュニティの希薄化</td> <td>24.0%</td> <td>29.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H27	H24	不安を感じる	50.4%	55.3%	不安である	(8.7%)	(7.7%)	やや不安である	(41.7%)	(47.6%)	どちらでもない	13.2%	13.5%	安心を感じる	36.3%	31.2%	安心している	(3.7%)	(2.6%)	まあ安心している	(32.6%)	(28.6%)	区 分	H27	H24	モラルの低下	41.7%	52.9%	地域に死角が多いから	29.6%	22.8%	犯罪事件の報道を目にするから	28.6%	24.2%	地域コミュニティの希薄化	24.0%	29.7%	<p>居住地域で犯罪被害にあうのではないかと不安を感じている人は、50.4%と半数を超えているが、平成24年の調査結果に比べると約5ポイント減少している。</p> <p>不安を感じる理由については、「モラルの低下」(41.7%)、「地域に死角が多いから」(29.6%)等の項目が上位にあることから、規範意識の向上につながる取組や地域の見守り活動などの取組がより一層求められている。</p>
区 分	H27	H24																																							
不安を感じる	50.4%	55.3%																																							
不安である	(8.7%)	(7.7%)																																							
やや不安である	(41.7%)	(47.6%)																																							
どちらでもない	13.2%	13.5%																																							
安心を感じる	36.3%	31.2%																																							
安心している	(3.7%)	(2.6%)																																							
まあ安心している	(32.6%)	(28.6%)																																							
区 分	H27	H24																																							
モラルの低下	41.7%	52.9%																																							
地域に死角が多いから	29.6%	22.8%																																							
犯罪事件の報道を目にするから	28.6%	24.2%																																							
地域コミュニティの希薄化	24.0%	29.7%																																							
具体的に不安を感じる犯罪・事案	<p>【不安を感じる犯罪・事案】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H27</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き巣等侵入窃盗</td> <td>66.3%</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>インターネット利用犯罪</td> <td>35.4%</td> <td>24.9%</td> </tr> <tr> <td>ひったくり</td> <td>21.2%</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>わいせつ事犯・痴漢</td> <td>19.6%</td> <td>18.0%</td> </tr> <tr> <td>少年い集(たむろ)</td> <td>18.8%</td> <td>28.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【犯罪にあうかもしれないと不安を感じる場所】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H27</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路上</td> <td>73.7%</td> <td>71.5%</td> </tr> <tr> <td>インターネット空間</td> <td>36.1%</td> <td>26.1%</td> </tr> <tr> <td>自宅</td> <td>27.7%</td> <td>24.7%</td> </tr> <tr> <td>駐車場・駐輪場</td> <td>27.2%</td> <td>25.1%</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>26.4%</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>繁華街</td> <td>24.8%</td> <td>27.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H27	H24	空き巣等侵入窃盗	66.3%	64.9%	インターネット利用犯罪	35.4%	24.9%	ひったくり	21.2%	22.5%	わいせつ事犯・痴漢	19.6%	18.0%	少年い集(たむろ)	18.8%	28.2%	区 分	H27	H24	路上	73.7%	71.5%	インターネット空間	36.1%	26.1%	自宅	27.7%	24.7%	駐車場・駐輪場	27.2%	25.1%	公園	26.4%	25.8%	繁華街	24.8%	27.1%	<p>不安を感じる具体的な犯罪・事案は、「空き巣等の侵入窃盗(66.3%)」が突出して高い。</p> <p>続いて、「インターネット利用犯罪(35.4%)」の割合が高く、平成24年の調査結果(24.9%)と比べると、10ポイント近く増加している。</p> <p>その他、高齢者や女性が被害者となる犯罪についての不安も上位にある。</p> <p>また、犯罪にあうかもしれないと不安を感じる場所は、「路上(73.7%)」が突出して高く、「インターネット空間(36.1%)」「自宅(27.7%)」の割合も高くなっている。</p> <p>このため、防犯パトロールや住宅等の防犯対策などの強化やインターネット利用犯罪等への対応が求められている。</p>
区 分	H27	H24																																							
空き巣等侵入窃盗	66.3%	64.9%																																							
インターネット利用犯罪	35.4%	24.9%																																							
ひったくり	21.2%	22.5%																																							
わいせつ事犯・痴漢	19.6%	18.0%																																							
少年い集(たむろ)	18.8%	28.2%																																							
区 分	H27	H24																																							
路上	73.7%	71.5%																																							
インターネット空間	36.1%	26.1%																																							
自宅	27.7%	24.7%																																							
駐車場・駐輪場	27.2%	25.1%																																							
公園	26.4%	25.8%																																							
繁華街	24.8%	27.1%																																							

項目	アンケート結果(主な意見)		結果の考察																																	
地域の安全・安心確保のために必要な取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="437 224 794 277">区 分</th> <th data-bbox="801 224 954 277">割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="437 286 794 327">防犯カメラの設置</td> <td data-bbox="801 286 954 327">50.4%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 336 794 416">防犯に配慮した公園・道路、防犯灯の整備</td> <td data-bbox="801 336 954 416">41.5%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 425 794 465">地域の見回りの強化</td> <td data-bbox="801 425 954 465">34.0%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 474 794 515">地域の犯罪・防犯情報の提供</td> <td data-bbox="801 474 954 515">24.7%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 524 794 595">地域住民による自主防犯活動への支援</td> <td data-bbox="801 524 954 595">23.5%</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	割合	防犯カメラの設置	50.4%	防犯に配慮した公園・道路、防犯灯の整備	41.5%	地域の見回りの強化	34.0%	地域の犯罪・防犯情報の提供	24.7%	地域住民による自主防犯活動への支援	23.5%	<p>「防犯カメラの設置(50.4%)」の割合が最も高く半数を超えている。</p> <p>次に「防犯に配慮した公園・道路、防犯灯の整備(41.5%)」、「地域の見回りの強化(34.0%)」の割合が高く、ハード面の整備だけではなく、見回り活動の充実等ソフト面の取組が重要であると考えられる人が多いことがうかがえる。</p>																					
区 分	割合																																			
防犯カメラの設置	50.4%																																			
防犯に配慮した公園・道路、防犯灯の整備	41.5%																																			
地域の見回りの強化	34.0%																																			
地域の犯罪・防犯情報の提供	24.7%																																			
地域住民による自主防犯活動への支援	23.5%																																			
自らが行う安全・安心のための取組	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="437 676 647 779">区 分</th> <th data-bbox="654 676 746 779">以前からしている</th> <th data-bbox="753 676 845 779">今後してみたい</th> <th data-bbox="852 676 954 779">したいとは思わない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="437 788 647 878">声かけ(あいさつ)運動</td> <td data-bbox="654 788 746 878">45.6%</td> <td data-bbox="753 788 845 878">36.4%</td> <td data-bbox="852 788 954 878">9.0%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 887 647 976">通学路における子どもの見守り活動</td> <td data-bbox="654 887 746 976">14.5%</td> <td data-bbox="753 887 845 976">47.1%</td> <td data-bbox="852 887 954 976">18.8%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 985 647 1066">防犯パトロール</td> <td data-bbox="654 985 746 1066">12.6%</td> <td data-bbox="753 985 845 1066">39.8%</td> <td data-bbox="852 985 954 1066">25.1%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1075 647 1164">門灯の一晚中の点灯(門灯点灯運動)</td> <td data-bbox="654 1075 746 1164">42.4%</td> <td data-bbox="753 1075 845 1164">24.4%</td> <td data-bbox="852 1075 954 1164">17.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1173 647 1263">地域への防犯情報の提供</td> <td data-bbox="654 1173 746 1263">12.6%</td> <td data-bbox="753 1173 845 1263">56.5%</td> <td data-bbox="852 1173 954 1263">8.4%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1272 647 1361">防犯セミナーへの参加</td> <td data-bbox="654 1272 746 1361">11.7%</td> <td data-bbox="753 1272 845 1361">58.3%</td> <td data-bbox="852 1272 954 1361">15.6%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1370 647 1460">地域周辺の安全マップの作成</td> <td data-bbox="654 1370 746 1460">6.2%</td> <td data-bbox="753 1370 845 1460">53.8%</td> <td data-bbox="852 1370 954 1460">13.8%</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	以前からしている	今後してみたい	したいとは思わない	声かけ(あいさつ)運動	45.6%	36.4%	9.0%	通学路における子どもの見守り活動	14.5%	47.1%	18.8%	防犯パトロール	12.6%	39.8%	25.1%	門灯の一晚中の点灯(門灯点灯運動)	42.4%	24.4%	17.9%	地域への防犯情報の提供	12.6%	56.5%	8.4%	防犯セミナーへの参加	11.7%	58.3%	15.6%	地域周辺の安全マップの作成	6.2%	53.8%	13.8%	<p>前問で「地域の見回りの強化(34.0%)」や「地域の犯罪・防犯情報の提供(24.7%)」が必要な取組であるとの意識を反映した回答が上位であったが、実践の状況を見ると「通学路における子どもの見守り活動(14.5%)」、「防犯パトロール(12.6%)」、「地域への防犯情報の提供(12.6%)」などの地域活動への参加が低調になっている。</p> <p>ただし、これらの取組については、今後してみたいとする割合が高いことから、意識と実践をつなげるため、まちづくり防犯グループ等の地域団体による仲間づくりに役立つ情報提供、新たな担い手の確保などの活動を支援することが求められる。</p> <p>一方、地域の防犯活動に消極的な回答をした理由は、「時間がない(37.3%)」「一緒に参加する知人等がない(23.0%)」「取組を行うための支援(情報、ノウハウ、用品等)がない(20.7%)」とする回答の割合が高いことから、参加機会や活動情報の提供を行うほか、自主防犯組織への継続的な支援を行う必要がある。</p>	
区 分	以前からしている	今後してみたい	したいとは思わない																																	
声かけ(あいさつ)運動	45.6%	36.4%	9.0%																																	
通学路における子どもの見守り活動	14.5%	47.1%	18.8%																																	
防犯パトロール	12.6%	39.8%	25.1%																																	
門灯の一晚中の点灯(門灯点灯運動)	42.4%	24.4%	17.9%																																	
地域への防犯情報の提供	12.6%	56.5%	8.4%																																	
防犯セミナーへの参加	11.7%	58.3%	15.6%																																	
地域周辺の安全マップの作成	6.2%	53.8%	13.8%																																	
<p>【声かけ運動、子どもの見守り活動、防犯パトロールをしたいと思わない理由】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="437 1621 833 1675">区 分</th> <th data-bbox="839 1621 954 1675">割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="437 1684 833 1724">時間がないから</td> <td data-bbox="839 1684 954 1724">37.3%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1733 833 1823">一緒に参加する知人等がないから</td> <td data-bbox="839 1733 954 1823">23.0%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="437 1832 833 1912">取組を行うための支援がないから</td> <td data-bbox="839 1832 954 1912">20.7%</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	割合	時間がないから	37.3%	一緒に参加する知人等がないから	23.0%	取組を行うための支援がないから	20.7%																											
区 分	割合																																			
時間がないから	37.3%																																			
一緒に参加する知人等がないから	23.0%																																			
取組を行うための支援がないから	20.7%																																			

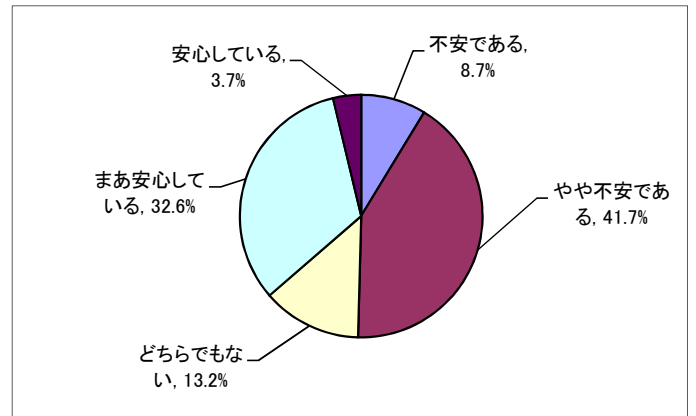
項 目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察																								
子どもにとっての治安状況	<table border="1" data-bbox="437 282 932 654"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「安全だと思う」</td> <td>53.0%</td> </tr> <tr> <td>安全だと思う</td> <td>(4.0%)</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば安全だと思う</td> <td>(49.0%)</td> </tr> <tr> <td>「どちらとも言えない」</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>「危険だと思う」</td> <td>19.0%</td> </tr> <tr> <td>危険だと思う</td> <td>(2.6%)</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えば危険だと思う</td> <td>(16.4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="450 698 705 730">【危険だと思う理由】</p> <table border="1" data-bbox="437 734 932 1057"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子どもが被害者になる事件の報道をよく目にするから</td> <td>48.3%</td> </tr> <tr> <td>通学路、公園等に防犯カメラが設置されていないから</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>地域で子どもへのつきまとい事案などが頻繁に発生しているから</td> <td>29.5%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	割合	「安全だと思う」	53.0%	安全だと思う	(4.0%)	どちらかと言えば安全だと思う	(49.0%)	「どちらとも言えない」	28.0%	「危険だと思う」	19.0%	危険だと思う	(2.6%)	どちらかと言えば危険だと思う	(16.4%)	区 分	割合	子どもが被害者になる事件の報道をよく目にするから	48.3%	通学路、公園等に防犯カメラが設置されていないから	44.4%	地域で子どもへのつきまとい事案などが頻繁に発生しているから	29.5%	<p data-bbox="979 259 1493 403">居住地域での子どもの治安状況について、「安全だと思う」、「どちらかと言えば安全だと思う」を合わせると 53.0% と半数を超えている。</p> <p data-bbox="979 407 1493 815">これは、これまで取り組んできた子どもの安全対策が進んでいることがうかがえるが、その一方で危険だと思う人の割合も 19.0% となっており、その理由として「通学路、公園等に防犯カメラが設置されていないから(44.4%)」、「地域で子どもへのつきまとい事案などが頻繁に発生しているから(29.5%)」などの割合が高く、地域での見守りや不審者等への対策の強化が必要である。</p>
区 分	割合																									
「安全だと思う」	53.0%																									
安全だと思う	(4.0%)																									
どちらかと言えば安全だと思う	(49.0%)																									
「どちらとも言えない」	28.0%																									
「危険だと思う」	19.0%																									
危険だと思う	(2.6%)																									
どちらかと言えば危険だと思う	(16.4%)																									
区 分	割合																									
子どもが被害者になる事件の報道をよく目にするから	48.3%																									
通学路、公園等に防犯カメラが設置されていないから	44.4%																									
地域で子どもへのつきまとい事案などが頻繁に発生しているから	29.5%																									
子どもの安全を守る取組	<table border="1" data-bbox="437 1133 932 1518"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登下校の見守り活動の強化</td> <td>50.3%</td> </tr> <tr> <td>通学路への防犯カメラや防犯灯の設置</td> <td>46.7%</td> </tr> <tr> <td>知らない人について行かない等家庭における注意喚起</td> <td>38.8%</td> </tr> <tr> <td>防犯ブザーなど防犯グッズ用品の携帯</td> <td>16.0%</td> </tr> <tr> <td>子どもを守る 110 番の家・店の取組強化</td> <td>13.7%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	割合	登下校の見守り活動の強化	50.3%	通学路への防犯カメラや防犯灯の設置	46.7%	知らない人について行かない等家庭における注意喚起	38.8%	防犯ブザーなど防犯グッズ用品の携帯	16.0%	子どもを守る 110 番の家・店の取組強化	13.7%	<p data-bbox="979 1120 1493 1335">「登下校の見守り活動の強化(50.3%)」、「通学路への防犯カメラや防犯灯の設置(46.7%)」の割合が高く、ソフト面の見守り活動の強化を図る取組に加え、ハード面の整備が重要であると考えている人が多い。</p> <p data-bbox="979 1339 1493 1523">また、「子どもを守る 110 番の家・店の取組強化」についても、13.7% と一定の期待があることから、今後さらに周知を図り、協力者の開拓等を図っていく必要がある。</p>												
区 分	割合																									
登下校の見守り活動の強化	50.3%																									
通学路への防犯カメラや防犯灯の設置	46.7%																									
知らない人について行かない等家庭における注意喚起	38.8%																									
防犯ブザーなど防犯グッズ用品の携帯	16.0%																									
子どもを守る 110 番の家・店の取組強化	13.7%																									

※アンケート結果は、「地域安全まちづくり推進計画」(第4期)策定のための基礎資料として活用する。

3 調査結果

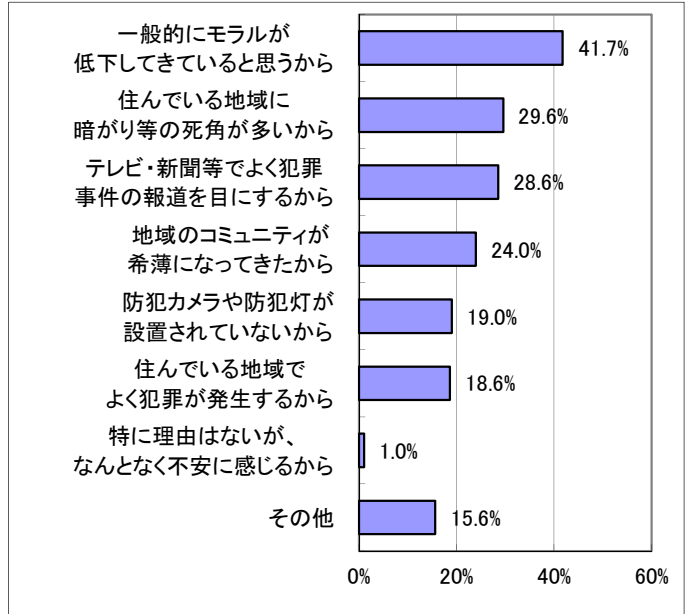
Q1 居住地で、犯罪被害にあうのではないかと
いう不安をどの程度感じているか(1つ選択)

(1) 不安である	8.7%
(2) やや不安である	41.7%
(3) どちらでもない	13.2%
(4) まあ安心している	32.6%
(5) 安心している	3.7%



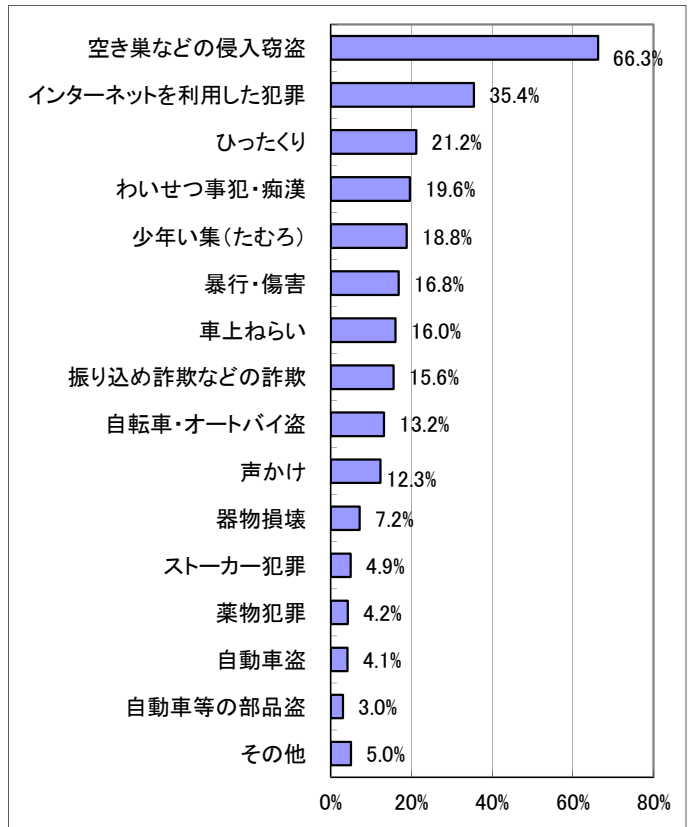
Q2 (Q1で「不安である」又は「やや不安である」と
回答した767人に)その理由は(2つ選択)

(1) 住んでいる地域でよく犯罪が発生するから	18.6%
(2) 一般的にモラルが低下してきていると思うから	41.7%
(3) 地域のコミュニティが希薄になってきたから	24.0%
(4) 住んでいる地域に暗がりや見通しの悪い場所等の死角が多いから	29.6%
(5) テレビ・新聞等でよく犯罪事件の報道を目にするから	28.6%
(6) 防犯カメラや防犯灯が設置されていないから	19.0%
(7) 特に理由はないが、なんとなく不安に感じるから	1.0%
(8) その他	15.6%
・過去に犯罪被害に遭ったことがあるから	20件
・不審者等を目撃するから	14件
など	120件



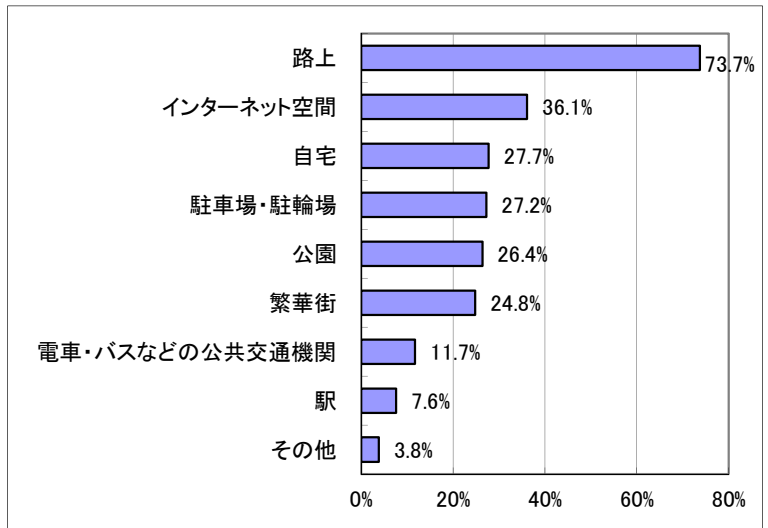
Q3 どのような犯罪・事案に不安を感じているか
(3つ選択)

(1) 空き巣などの侵入窃盗	66.3%
(2) 車上ねらい	16.0%
(3) 自動車盗	4.1%
(4) 自動車等の部品盗	3.0%
(5) 自転車・オートバイ盗	13.2%
(6) ひったくり	21.2%
(7) 器物損壊	7.2%
(8) 暴行・傷害	16.8%
(9) 振り込め詐欺などの詐欺	15.6%
(10) インターネットを利用した犯罪	35.4%
(11) 薬物犯罪	4.2%
(12) ストーカー犯罪	4.9%
(13) わいせつ事犯・痴漢	19.6%
(14) 声かけ(不審者からの呼びかけ)	12.3%
(15) 少年い集(たむろ)	18.8%
(16) その他	5.0%
・誘拐等子どもをねらう犯罪	9件
・放火	8件
など	76件



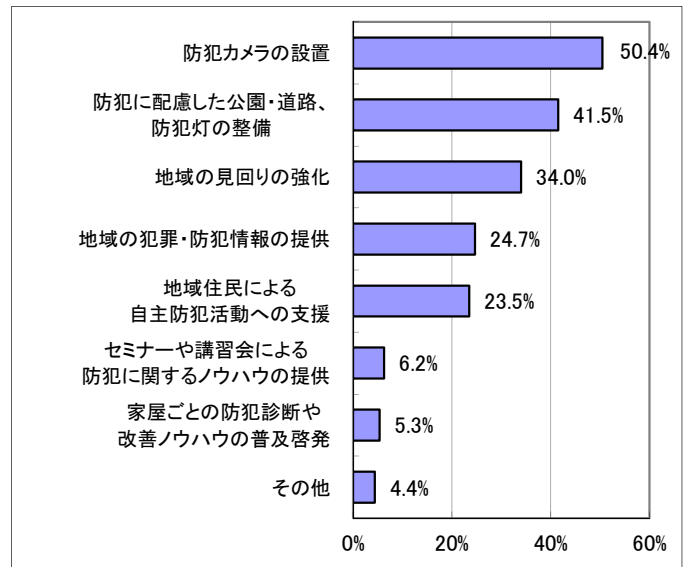
Q4 どのような場所で犯罪にあうかもしれないという不安を感じるか(3つ選択)

(1) 路上	73.7%
(2) 公園	26.4%
(3) 駐車場・駐輪場	27.2%
(4) 駅	7.6%
(5) 繁華街	24.8%
(6) 電車・バスなどの公共交通機関	11.7%
(7) 自宅	27.7%
(8) インターネット空間	36.1%
(9) その他	3.8%
・夜道や人通りの少ない場所	12件
・コンビニ、スーパー	11件
など	58件



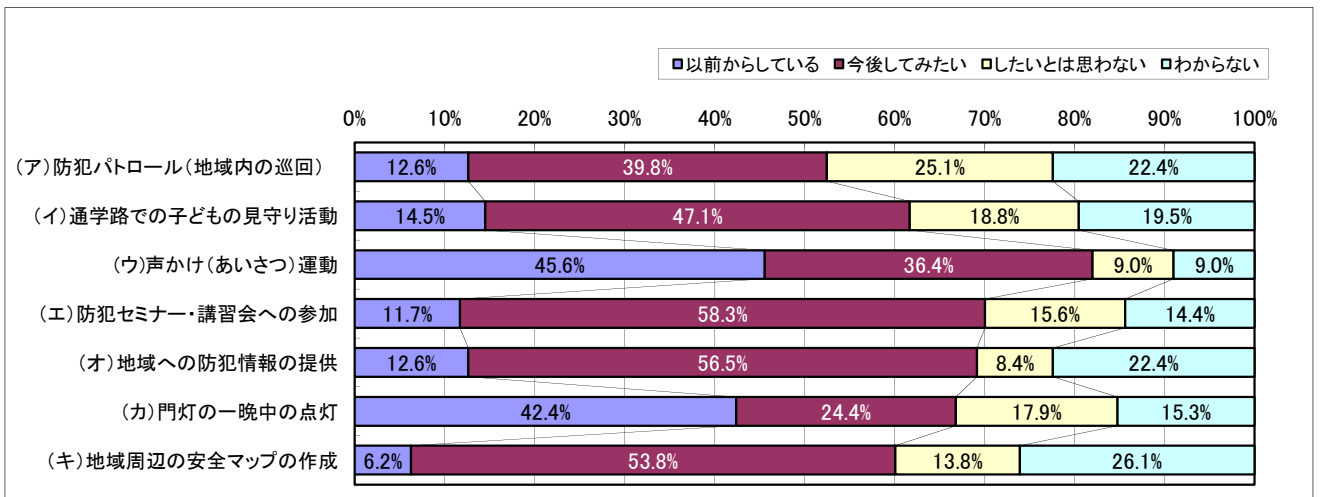
Q5 居住地の安全・安心の確保に向けて、どのような取組が大切か(2つ選択)

(1) 地域の見回りの強化	34.0%
(2) 地域住民による自主防犯活動への支援	23.5%
(3) 地域の犯罪・防犯情報の提供	24.7%
(4) セミナーや講習会による防犯に関するノウハウの提供	6.2%
(5) 防犯カメラの設置	50.4%
(6) 防犯に配慮した公園・道路、防犯灯の整備	41.5%
(7) 家屋ごとの防犯診断や改善ノウハウの普及啓発	5.3%
(8) その他	4.4%
・警察のパトロールや取締り強化	19件
・自治会や地域コミュニティの育成	13件
など	67件



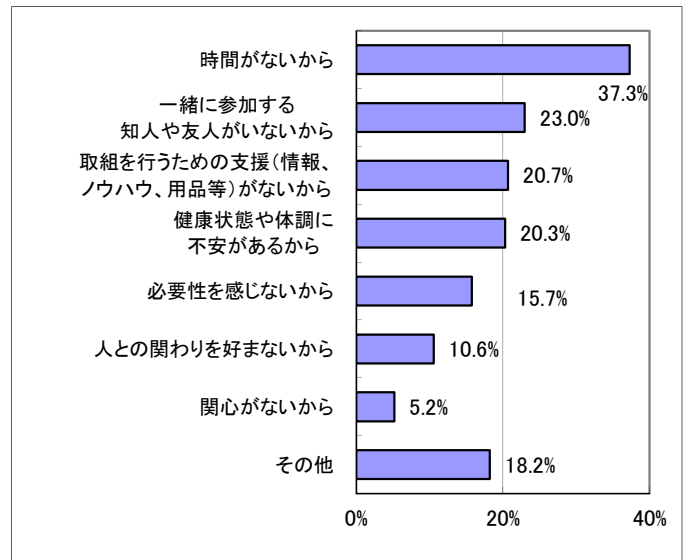
Q6 地域の安全・安心を確保するために、あなたが行う取組について(それぞれの取組について4つの選択肢から1つ選択)

	以前からしている	今後してみたい	したいとは思わない	わからない
(ア) 防犯パトロール(地域内の巡回)	12.6%	39.8%	25.1%	22.4%
(イ) 通学路における子どもの見守り活動	14.5%	47.1%	18.8%	19.5%
(ウ) 声かけ(あいさつ)運動	45.6%	36.4%	9.0%	9.0%
(エ) 防犯セミナー・講習会への参加	11.7%	58.3%	15.6%	14.4%
(オ) 地域への防犯情報の提供	12.6%	56.5%	8.4%	22.4%
(カ) 門灯の一晚中の点灯(門灯点灯運動)	42.4%	24.4%	17.9%	15.3%
(キ) 地域周辺の安全マップの作成	6.2%	53.8%	13.8%	26.1%



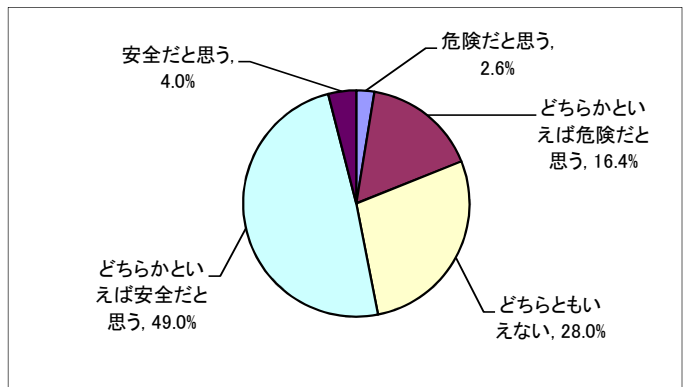
Q7 (Q6でのア、イ、ウで1つでも「したいとは思わない」と回答された方483人に)その理由は(複数選択可)

- | | |
|----------------------------------|-------|
| (1) 時間がないから | 37.3% |
| (2) 健康状態や体調に不安があるから | 20.3% |
| (3) 関心がないから | 5.2% |
| (4) 一緒に参加する知人や友人がいないから | 23.0% |
| (5) 必要性を感じないから | 15.7% |
| (6) 人との関わりを好まないから | 10.6% |
| (7) 取組を行うための支援(情報、ノウハウ、用品等)がないから | 20.7% |
| (8) その他 | 18.2% |
| ・危険だから | 17件 |
| ・効果が薄いと思われるから | 7件 |
| など | 88件 |



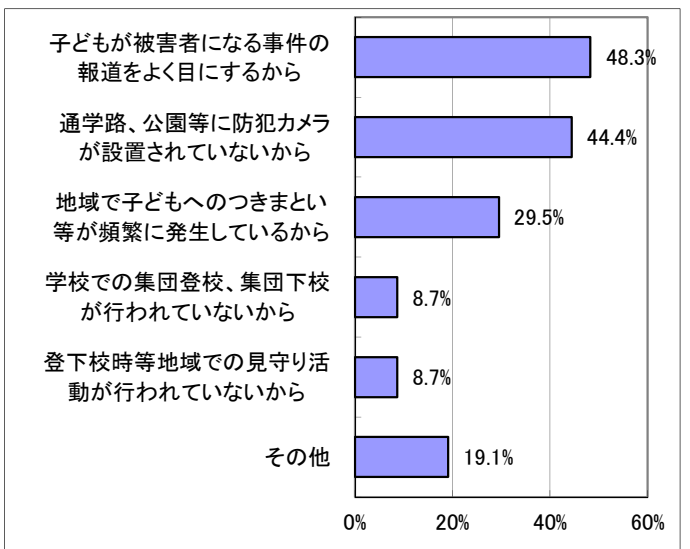
Q8 あなたの居住地域は、子どもたちにとって、どのような治安状況か(1つ選択)

- | | |
|--------------------|-------|
| (1) 危険だと思う | 2.6% |
| (2) どちらかといえば危険だと思う | 16.4% |
| (3) どちらともいえない | 28.0% |
| (4) どちらかといえば安全だと思う | 49.0% |
| (5) 安全だと思う | 4.0% |



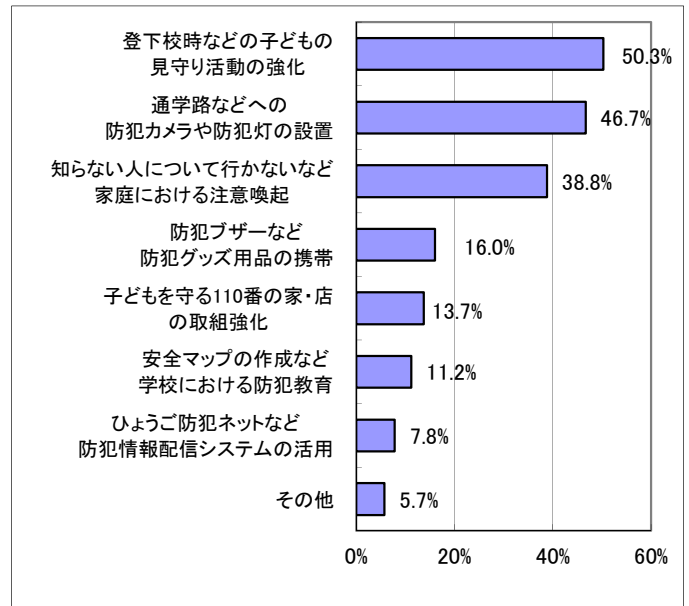
Q9 (Q8で「危険だと思う」又は「どちらかといえば危険だと思う」と回答した288人に)その理由は(2つ選択)

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| (1) 地域で子どもへのつきまとい事案などが頻繁に発生しているから | 29.5% |
| (2) 子どもが被害者になる事件の報道をよく目にするから | 48.3% |
| (3) 通学路、公園等に防犯カメラが設置されていないから | 44.4% |
| (4) 学校での集団登校、集団下校が行われていないから | 8.7% |
| (5) 登下校の見守り活動など地域における見守り活動が行われていないから | 8.7% |
| (6) その他 | 19.1% |
| ・人通りが少ない場所等があるから | 7件 |
| ・不審者等を目撃するから | 5件 |
| など | 55件 |



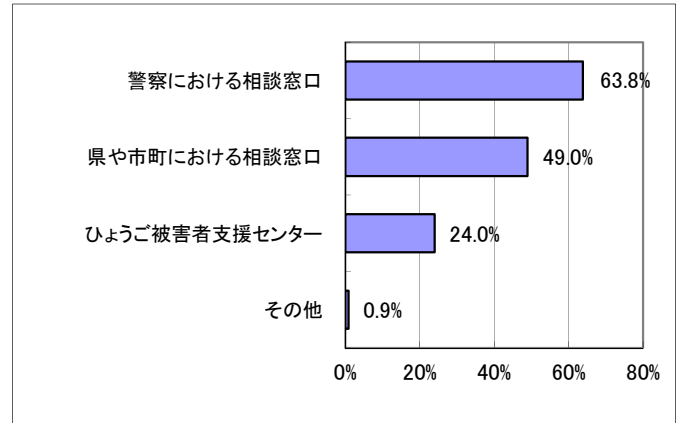
Q10 居住地域の子どもたちが犯罪に巻き込まれないためには、どのような取組が特に大切か(2つ選択)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| (1) 登下校時などの子どもの見守り活動の強化 | 50.3% |
| (2) 知らない人について行かないなど家庭における注意喚起 | 38.8% |
| (3) 安全マップの作成など学校における防犯教育 | 11.2% |
| (4) ひょうご防犯ネットなど防犯情報配信システムの活用 | 7.8% |
| (5) 通学路などへの防犯カメラや防犯灯の設置 | 46.7% |
| (6) 子どもを守る110番の家・店の取組強化 | 13.7% |
| (7) 防犯ブザーなど防犯グッズ用品の携帯 | 16.0% |
| (8) その他 | 5.7% |
| ・常日頃からの地域との交流を持つ | 11件 |
| ・親が子どもに関心を持ち目を離さない | 10件 |
| など | 87件 |



Q11 犯罪被害者等のための相談窓口で知っているものは(複数選択可)

- | | |
|-------------------------|-------|
| (1) 警察における相談窓口 | 63.8% |
| (2) 県や市町における相談窓口 | 49.0% |
| (3) 公益社団法人ひょうご被害者支援センター | 24.0% |
| (4) その他 | 0.9% |
| ・保護観察所 | 2件 |
| ・弁護士会 | 2件 |
| ・法テラス | 2件 |
| など | 13件 |



Q12 その他、地域安全まちづくりに関するご意見、ご提案等

- | | |
|------------------------------|-------|
| ・地域コミュニティの強化 | 72 件 |
| ・防犯パトロール、見守り活動、声かけ運動の強化 | 70 件 |
| ・防犯カメラ、防犯灯等の整備 | 52 件 |
| ・警察機能の強化 | 47 件 |
| ・路上駐車排除や草木の剪定等、犯罪の起きにくいまちづくり | 31 件 |
| ・個人の意識啓発 | 24 件 |
| ・青少年の健全育成(防犯教育、家庭でのしつけ) | 23 件 |
| ・地域でおきた事件等の情報提供の強化 | 22 件 |
| ・地域活動に参加するきっかけづくり | 20 件 |
| など | 544 件 |

【問い合わせ先】 企画県民部広報課広聴室 (TEL078-362-3021)